

平成30年11月8日

## 平成30年度モーダルシフト取り組み優良事業者の受賞者を決定

～大賞は東洋メビウス株式会社に決定～

(一社)日本物流団体連合会(田村修二会長)は、「モーダルシフト取り組み優良事業者公表・表彰制度」の受賞者を決定した。

モーダルシフト最優良事業者賞(大賞)は、東洋メビウス株式会社の『缶蓋製品の鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフト』が受賞した。

物流連は平成15年より、モーダルシフトに積極的に取り組む物流事業者を会報等で公表してきたが、平成26年度より優良事業者の表彰を中心とする制度へ移行しており、表彰制度としては第5回目の実施となる。

本制度の主旨は、物流業界における環境負荷低減と労働生産性向上の観点から、大量輸送機関を利用した輸送の重要性が増している状況のもと、他の模範となる取り組みを行っている物流事業者を表彰するとともに、その取り組みを広く社会に紹介し、モーダルシフトを更に促進しようとするものである。

各応募案件は「モーダルシフト優良事業者選定委員会(委員長:竹内健蔵 東京女子大学教授)」にて審議の上、23件15社が優良事業者として選定された。

表彰案件の概要は、別紙の通りである。

表彰式は、11月27日(火)16時45分より、第一ホテル東京にて開催される。

以上

事務局 原田

# 平成30年度モーダルシフト取り組み優良事業者 公表・表彰の概要

## 1. モーダルシフト最優良事業者賞(大賞) (1件)

被表彰者：東洋メビウス株式会社  
功績事項：缶蓋製品の鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフト

東洋メビウス(株)は、茨城県と大阪府の間で行う缶蓋製品の輸送について、従来のトラック輸送から鉄道輸送へ転換するモーダルシフトを実現した。

長距離ドライバー不足を背景に、鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトを検討していたが、輸送中の振動や結露による損傷(缶蓋への傷・錆等)の発生が懸念されていた。

そこで損傷発生の対策として、断熱機能や荷室内固定装置(ラッシングレール)を追加装備した、従来のトラックの荷室と同等の仕様となる専用31ftコンテナを開発した。

これにより、トラック輸送と同等の輸送品質を鉄道輸送において確保した。輸送品の特性に配慮しつつ、環境負荷低減とトラックドライバー不足等の問題解決に対して範となる取組みを実現した。

## 2. モーダルシフト取り組み優良事業者賞

### ① 実行部門 (1件)

被表彰者：日本通運株式会社  
功績事項：幹線区間の輸送において、鉄道・海運の利用比率が40%超を達成

日本通運(株)は、幹線区間における貨物総輸送量のうち鉄道・海運の利用比率が40%超を達成した

## ② 改善部門 (3件)

被表彰者：山九株式会社

功績事項：幹線区間の輸送において、鉄道・海運の利用比率が40%を超えるとともに、前年度を上回る実績を達成

山九(株)は、拠点間の幹線区間における輸送量について、トラックの割合を減らし、大量輸送機関である鉄道・海運の割合を一層向上させた。平成28年度における実績が全輸送量中47.5%であったのに対し、平成29年度においては52.5%を達成し、前年度と比較し、モーダルシフト輸送比率の改善を実現した。

被表彰者：センコー株式会社

功績事項：幹線区間の輸送において、鉄道・海運の利用比率が40%を超えるとともに、前年度を上回る実績を達成

センコー(株)は、拠点間の幹線区間における輸送量について、トラックの割合を減らし、大量輸送機関である鉄道・海運の割合を一層向上させた。平成28年度における実績が全輸送量中63.4%であったのに対し、平成29年度においては65.7%を達成し、前年度と比較し、モーダルシフト輸送比率の改善を実現した。

被表彰者：日本石油輸送株式会社

功績事項：幹線区間の輸送において、鉄道・海運の利用比率が40%を超えるとともに、前年度を上回る実績を達成

日本石油輸送(株)は、拠点間の幹線区間における輸送量について、トラックの割合を減らし、大量輸送機関である鉄道・海運の割合を一層向上させた。平成28年度における実績が全輸送量中49.0%であったのに対し、平成29年度においては49.6%を達成し、前年度と比較し、モーダルシフト輸送比率の改善を実現した。

### ③ 継続部門 (2件)

被表彰者：フェリックス物流株式会社

功績事項：幹線区間の輸送において、鉄道・海運の利用比率が3年連続で40%超えを達成

被表彰者：マリネックス西日本株式会社

功績事項：幹線区間の輸送において、鉄道・海運の利用比率が3年連続で40%超えを達成

フェリックス物流(株)、マリネックス西日本(株)は、3年連続で、幹線区間における貨物総輸送量のうち鉄道・海運の利用比率が40%超を達成した。

### ④ 有効活用部門 (6件)

被表彰者：佐川急便株式会社

トヨタ輸送株式会社

功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現

佐川急便(株)とトヨタ輸送(株)は、愛知県から岩手県への宅配便の輸送について、トラック輸送から鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトを実現した。

トヨタ輸送(株)は自動車部品の愛知県と岩手県の輸送について、専用列車での輸送を行っていたが、愛知県から岩手県への輸送に関して波動的に空きスペースが生じていた。貨物列車のダイヤが過密である中、トヨタ輸送(株)が利用する専用列車の空きスペースを佐川急便(株)が活用することによって、輸送効率を向上させつつ、積載率の向上、ドライバーの省力化を同時に実現した。

被表彰者：センコー株式会社

功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現

センコー(株)は、栃木県から兵庫県への樹脂の輸送について、トラック輸送から鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトを実現した。

長距離ドライバー不足を背景に、鉄道コンテナ輸送へモーダルシフトすることでドライバーの省力化を実現したほか、フレコン輸送からバルクコンテナ輸

送に転換したことで、輸送効率化を実現した。

**被表彰者：日本通運株式会社**

**功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現**

日本通運（株）は、三重県から広島県・山口県へのゴム製品の輸送について、トラック輸送から鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトを実現した。

ボリュームの大きなモーダルシフトを実現することでCO<sub>2</sub>の大幅な削減に成功するとともに、トラックドライバーの運転時間の大幅な削減にも成功している。

**被表彰者：株式会社日立物流**

**功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現**

（株）日立物流は、東京都から北海道および大阪府への店舗向け用品の輸送について、トラック輸送から鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトを行い、輸送効率の向上とドライバーの省力化を実現した。

鉄道の輸送障害時には航空輸送が代替輸送手段となるが、鉄道輸送時の通運会社と航空輸送時の代理店を同一会社にするにより、トラブル発生時の迅速な対応を可能とした。

**被表彰者：株式会社ランテック**

**功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現**

（株）ランテックは、九州地区と東海地区での冷蔵冷凍食品の輸送について、トラック輸送から鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトを実現した。

ドライバー不足を背景に、鉄道輸送へモーダルシフトすることでドライバーの省力化を実現したほか、私有コンテナによる輸送を往復で行うことにより、輸送効率化を実現している。

**被表彰者：株式会社ロジスティクス・ネットワーク**

**功績事項：モーダルシフトの実施により、効率的な輸送を実現**

（株）ロジスティクス・ネットワークは、北海道から神奈川県への冷凍食品の輸送について、トラック輸送から鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトを実現

した。

ドライバー不足を背景に、幹線輸送における安定的な車両調達を実現したほか、同一コンテナの往復利用を実現するため、温度帯の異なる他社の貨物輸送と組み合わせ、その復路としての輸送も行うことで、輸送の効率化を実現した。

## ⑤ 新規開拓部門 (10件)

被表彰者：山九株式会社

功績事項：新規モーダルシフト案件の実現とその継続

山九(株)は、2件のモーダルシフトを実現した。

1. 兵庫県から福岡県への工業用潤滑油の輸送について、トラック輸送から鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトを実現した。

納品先の希望により、小ロット納品が指定されているため、従来はその都度トラック輸送を行っていたが、長距離輸送の運転手確保が困難となった為、幹線部分については鉄道輸送へ切り替え、ドライバーの省力化を実現した。

2. 群馬県から徳島県へのPETボトル輸送について、トラック輸送から海上輸送へのモーダルシフトを実現した。長距離輸送の運転手確保が困難となった為、海上輸送への切り替えと同時に、海上区間の無人航送のためトラックからトレーラーへ変更したことにより、ドライバーの省力化を実現した。

被表彰者：センコー株式会社

功績事項：新規モーダルシフト案件の実現とその継続

センコー(株)は、三重県から岡山県および栃木県への樹脂の輸送について、トラック輸送から鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトを実現した。

樹脂の輸送で使用するバルクコンテナの長距離輸送について、必要な特殊車両確保の問題やドライバー不足が課題となっていた。鉄道コンテナ輸送へモーダルシフトすることで特殊車両の運行を効率化し、ドライバーの省力化を実現した。

被表彰者：中越通運株式会社

功績事項：新規モーダルシフト案件の実現とその継続

中越通運（株）は、2件のモーダルシフトを実現した。

1. 新潟県から岡山県および福岡県への食品の輸送について、トラック輸送から鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトを実現した。  
トラックドライバー不足を背景に、鉄道コンテナ輸送へモーダルシフトすることでドライバーの省力化を実現したほか、一貫パレット化による作業時間の短縮を実現した。
2. 新潟県から岩手県への秋・冬季の食品の輸送について、トラック輸送から鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトを実現した。  
トラックドライバー不足を背景に、鉄道コンテナ輸送へモーダルシフトすることでドライバーの省力化を実現した。

被表彰者：株式会社日陸

功績事項：新規モーダルシフト案件の実現とその継続

（株）日陸は、山形県から青森県への化学製品の輸送について、トラック（タンクローリー）輸送から鉄道コンテナ輸送（ISO タンクコンテナ）へのモーダルシフトを実現した。

従来は青森県までの輸送をタンクローリーで行っていたが、ISO タンクコンテナを利用することで、鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトを実現した。

被表彰者：濃飛倉庫運輸株式会社

功績事項：新規モーダルシフト案件の実現とその継続

濃飛倉庫運輸（株）は、従来のトラック輸送から鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトを実現する新規案件を複数成約した。輸送品目は家具や自転車など多岐にわたり、様々な業界のモーダルシフトの推進に貢献している。

被表彰者：フェリックス物流株式会社

功績事項：新規モーダルシフト案件の実現とその継続



フェリックス物流㈱は、福岡県から大阪府および愛知県への鋼材の輸送について、トラック輸送から海上輸送へのモーダルシフトを実現した。

海上輸送の強みが発揮される長距離の輸送について、比較的ボリュームの大きなモーダルシフトを実現している。

**被表彰者：マリネックス西日本株式会社**

**功績事項：新規モーダルシフト案件の実現とその継続**

マリネックス西日本株式会社は、京都府から福岡県へのお酒製品の輸送について、トラック輸送から海上輸送へのモーダルシフトを実現した。

トラックドライバー不足を背景に、シャーシを用いてフェリーへモーダルシフトすることで、ドライバーの省力化を実現した。

**被表彰者：株式会社ロジスティクス・ネットワーク**

**功績事項：新規モーダルシフト案件の実現とその継続**

(株)ロジスティクス・ネットワークは、千葉県から広島県への冷凍食品の輸送について、トラック輸送から鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフトを実現した。

車両の確保が難しいルートであったことから、鉄道コンテナ輸送へモーダルシフトすることで、ドライバー不足に対応した無人航走により、安定的な車両調達を実現した。